

2019年12月27日

株式会社メルティンMMI
三井住友海上火災保険株式会社

MELTINと三井住友海上 「アバターロボット保険」開発に関する協業取組を開始

株式会社メルティンMMI（代表取締役：粕谷 昌宏、以下「MELTIN」）およびMS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（取締役社長：原 典之、以下「三井住友海上」）は、アバターロボット^{※1}と保険を組み合わせた「アバターロボット保険」の開発に関する協業取組を開始します。

MELTINは、2018年3月にアバターロボットのコンセプトモデルである「MELTANT- α 」^{※2}を発表しています。2020年には、MELTINが実施予定の実証実験に三井住友海上が参画し、アバターロボットを活用した実証実験中のリスクに対する保険を提供します。

また、実証実験で得た情報をもとに、量産時における「アバターロボット保険」を開発し、アバターロボットの普及を後押しすることで、危険作業の代替や業務効率化・負担の軽減等を目指します。

※1：アバターロボットは、自身の分身として動く遠隔操作ロボットです。人の動きをリアルタイムに反映するだけでなく、アバターロボットの感触等をユーザーにフィードバックするハプティクス（触覚技術）を搭載しています。

※2：「MELTANT- α 」の基本性能

- ・操作環境：遠隔操作が可能（ボストン〜ドバイ間（約18,900km）での操作を実証実験済み）
- ・リアルタイム性：超低遅延を実現（制御側とアバターロボット側の動作遅延はほぼなく動作の再現が可能）
- ・耐久性：高い耐故障性とフェイルセーフ機能を搭載
- ・操作性：ハプティクス（触覚技術）を搭載（力覚を操作者へフィードバックする事で繊細な力加減の調整が可能）

1. 協業取組の内容

- （1）MELTINの開発するアバターロボットの設計・開発・運用支援および実証実験
- （2）MELTINの開発するアバターロボットおよび関連する商品・サービスと連携した保険商品の開発

2. 目的

- ・MELTINは、実証実験に関連したリスクを洗い出し、アバターロボットの安心・安全な開発・普及を推進するため、三井住友海上と協業します。
- ・三井住友海上は、世界でも革新的な技術であるアバターロボットの導入・普及に対応する体制強化を図るため、MELTINとの協業を通じて、アバターロボットに関する情報収集および分析を行い、保険商品・サービスの企画・開発を行います。

【MELTINについて】

MELTINは、生体信号処理技術とロボット技術を組み合わせた独自技術を用いてサイボーグ技術の研究・開発を行うベンチャー企業です。サイボーグ技術によって身体による限界を突破することで、人間の持つ創造性を100%発揮させることをビジョンとして掲げており、独自技術を駆使したアバターロボットシステム、医療機器開発、BMI（Brain Machine Interface – 脳と機械を繋ぐインターフェース）等の開発を通じ、サイボーグ技術による社会への貢献を目指します。

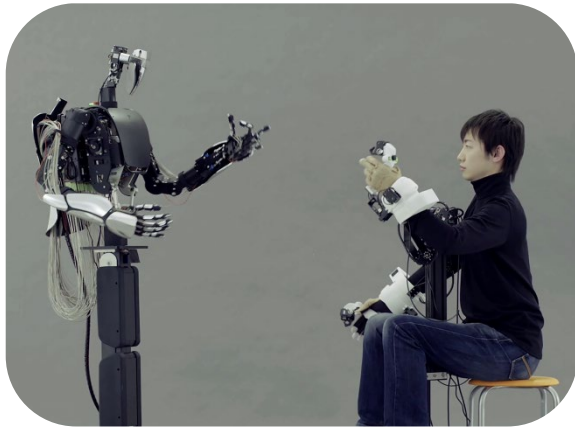


写真1：MELTIN開発のアバターロボット
コンセプトモデル：MELTANT-α



写真2：アバターロボットの想定動作環境

【三井住友海上について】

三井住友海上は、MS&ADインシュアランスグループの中核を担う損害保険会社で、グローバルな保険・金融サービス事業を展開しています。

今後、さまざまな技術革新や社会環境の変化に伴うビジネス変革の動きを敏感に捉え、お客さまのニーズに応える商品・サービスの開発や、新たなビジネスモデルの構築を通じて、安心・安全な社会の実現に取り組んでいきます。

以上